

# 「資質向上」と「地位向上」へ

## 技術士会中国本部 29年度年次大会を開催

『使命となる』技術士の資質向上』『技術士の地位向上』に関するそれぞれの活動状況などを報告。課題だったCPD行事の会員サービス格差是正については、4年前の岡山県支部設立に引き続き、昨年、鳥取県と山口県に県支部が新たに設立された。この二つの県支部が先輩の岡山県支部並みの活動ができるまでに成長すれば、大幅に改善できると期待している。だが、鳥根県だけはいまだに県支部がない空白地帯。できるだけ早期に県支部設立を実現したいと述べた。また、注視される技術士の更新制度の動向にも言及し、「近い将来、更新制度が導入される日がくる」とは間違いないと思つ。本

会へ入会すれば、更新が有利になる何らかの仕組みが付加できるよう努めていくと語った。このほか、今年の10月に開催される『第44回技術士全国大会（山口）』への積極的な参加に理解と協力を呼びかけた。

また、中国本部の会員でもある斉藤鉄夫衆議院議員が挨拶。この中では、技術士のさらなる活用などを関係部局に働きかける『与党技術士議員連盟』を本年6月に設立したことを説明した。

年次大会では、このほか、28年度事業報告・収支決算書、29年度事業計画・収支予算書及び組織体制などの報告などが行われた。年次大会終了後は、広島大学大学院工学研究科長・工学部長の河原能久氏を講師に招いて「集中豪雨による都市水害の軽減」をテーマとした記念講演会も催された。



年次大会のもよう

（公社）日本技術士会中国本部（大田一夫本部長）は15日、広島市中区の市文化交流会館で平成29年度年次大会を開いた。29年度事業計画や収支予算書などを報告し、技術士の資質向上や地位向上に向けた活動を積極的に展開していくことを申し合わせた。

大田本部長は開会挨拶